

週報 第3326回

会長 杉本 憲一 副会長 中 透
幹事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2026年2月20日) 第3326回

■ プログラム

卓話担当 今井 康隆 会員

■ 次週のプログラム

2月27日: 卓話担当 泉谷 仁博 会員

■ 今後の予定

3月6日: クラブフォーラム
山本 博章 親睦活動委員長

■ 祝 誕生日

根尾 玲子(25日)

■ 今月のロータリーソング

四つのテスト

今月の歌

ペチカ

雪の降る夜は 楽しいペチカ
ペチカ燃えろよ お話しましょ
昔 昔よ 燃えろよペチカ

■ 先週の例会

会長の時間



杉本 憲一 会長

尾身茂さん「難しいのは最後の一步」

ポリオ根絶へ日本の役割とは

小児まひとも呼ばれるポリオ。日本は根絶認定を受けて今年で25年ですが、世界では困難が続きます。「世界ポリオデー」にあたり、尾身茂さんが寄稿しました。
2025.10.24. インスタ/2026.2.1. 朝日新聞 Globe

日本が困難を乗り越えてポリオの根絶認定を受けてから25年

全世界でのポリオ根絶は目前だが、ガザでは再出現している

コロナ対策を指揮した尾身茂さんは日本に根絶への決意を求める

日本も経験した「資金不足」

2025年は、日本を含む西太平洋地域が世界保健機関(WHO)からポリオの根絶認定を受けてから25周年を迎える年です。私は当時(2000年10月)、WHO西太平洋地域事務局長としてこの取り組みを主導し、多様で人口の多い地域を対象に根絶を実現するという大きな節目に携わる機会を得ました。

日本はポリオ根絶の歴史の中で重要な役割を果たしてきました。

私がこの取り組みを指揮しはじめた1990年当初、この地域では年間約6千件の症例が報告され、監視体制の脆弱(ぜいじゃく)さや僻地(へきち)へのアクセス困難から未報告の患者も多数存在していました。2000年までに根絶を達成するという期限が迫る中、取り組みは困難を極めました。

最大の課題は資金不足でした。ワクチンの確保すら難しく、各国政府や機関に支援を呼びかけましたが、資金援助の申し出は一つもありませんでした。希望が途絶えかけた1992年、日本、米国、インドの3カ国で3人のロータリー会員がロータリーとして1億5千万円の寄付を申し出てくださいました。初めての大口支援であり、これをきっかけに日本政府も7億5千万円のODA(政府の開発援助)を決定しました。

日本のリーダーシップ TICAD9では支援拡大も

このような日本のリーダーシップ精神は今日も続いています。今年8月の第9回アフリカ開発会議(TICAD9)において、日本政府はGaviワクチンアライアンス(低所得国の予防接種率を向上させることを目的として2000年にスイスで設立された官民パートナーシップ)に対し、今後5年間で最大5億5千万米ドルを拠出することを表明しました。また、アフガニスタンにおけるポリオ根絶と定期予防接種強化のためにユニセフ(国連児童基金)に対し500万米ドルの無償資金協力を行い、1300万人以上の子どもたちのためのポリオワクチンを提供しています。

さらには「世界の子どもたちのためにポリオ根絶を目指す議員連盟」が発足しており、国際ロータリーをはじめとする市民社会も「世界ポリオ根絶推進活動(GPEI=WHO、国際ロータリー、米国疾病予防管理センター、ユニセフ、ゲイツ財団、Gaviワクチンアライアンスの6パートナーとともに各国政府が主導する官民パートナーシップ)」に対し、引き続き資金を拠出したたり、ワクチンの普及に取り組んだりしています。官民が一体となることで、日本はグローバルヘルス分野にお

いて確かな存在感を示しています。

ガザでの再出現、感染続く地域も

現在、私たちは歴史的勝利の目前に立っています。ポリオを、人類が根絶した二つめの感染症とする直前なのです。1988年には年間35万人以上の子どもがポリオによる麻痺(まひ)を発症していましたが、今や症例数は99.9%以上減少しました。夢のように思われた根絶は、数十年にわたる国際協力、ワクチン接種活動、数えきれない保健医療従事者とボランティアの献身によって、現実のものとなりつつあります。

しかし、まだ物語は終わっていません。野生株ポリオウイルスは今もパキスタンとアフガニスタンで感染が続いており、脆弱な保健医療体制や紛争、ワクチン不信が大きな障害となっています。

また、ガザ地区では戦禍によるインフラ崩壊のなかで2024年8月、25年ぶりにポリオが再出現しました。その後新たな感染者は確認されていませんが、ガザ地区で新たに採取した環境サンプルからはポリオウイルスが検出されています。さらに2022年には、ニューヨークとロンドンの下水からポリオウイルスが検出されました。40年以上前に根絶を祝った都市でさえ再流行し得ることを、この事実は示しています。ウイルスに国境はありません。どこかに存在する限り、世界中が脅かされるのです。

最後の一步こそが最も困難なのです。今この重要な時期にあつて、日本は過去の実績と新たな機会の双方を持ち合わせています。根絶を達成するには、ODAの継続、議員連盟のリーダーシップ、市民社会の積極的な関与が不可欠です。そして10月24日の「世界ポリオデー」にあたり、日本政府は、国として、また国際社会の一員として、この歴史的な歩みを完遂する決意を改めて示すべきです。世界の仲間とともに歩みを進め、ポリオを歴史に葬り去り、すべての子どもに健やかな未来を保障していきましょう。

【尾身茂】

医師、医学博士、76歳。2020年7月から23年8月まで政府が新設した新型コロナウイルス感染症対策分科会会長を務め、メディアなど情報を発信した。これまで通り結核やポリオをはじめ国内外の感染症対策に取り組んでいると同時に、2015年に立ち上げた『認定NPO法人全世代』の活動を行っています。ロータリーポリオ根絶アンバサダーを務めている。

幹事報告

細川 嘉則 幹事

2月16日(月)は事務局がお休みになりますので、ご承知おき下さい。

委員会報告

○本日皆様のメールボックスに、泉大津ロータリークラブ ウォーキング・日本酒・グルメ同好会合同企画「春のうららかウォーク&お酒とグルメ会」という案内を入れさせて頂いております。4月5日(日)募集人員は25名としております。ご家族様の参加も可能です。ウォーキングされなくて昼食だけをお楽しみになりたい方についての参加も歓迎します。2月28日(土)締切りにしてありますのでよろしくお願い致します。ぜひ皆様、多くの方の参加よろしくお願い致します。(細川 嘉則 幹事)

○本日メールボックスに、3月1日(日)テクスピア大阪で開催されます、泉大津ダンス&マルシェのチラシを入れさせて頂いております。ロータリークラブとしては昨年同様、後援協賛させて頂いておりますので、皆さんお時間があればテクスピア大阪に行ってください。

○来週2月18日(水)市役所で10時から16時30分まで献血事業があります。事前に参加ご協力頂いている方は、書いて頂いている時間にお越し頂いて献血事業の方ご協力よろしくお願い致します。

○本日例会終了後、みやびの間にて社会奉仕部門委員会開催しますので、関係者の方は出席よろしくお願い致します。(今井 克範 社会奉仕部門理事)

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数40名 出席免除 0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
2/13	33名	7名	—	82.50%
1/30	33名	7名	1名	85.00%

■ メークアップ

榎本(2/4 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・本日 大橋府会議員、卓話よろしくお願いします(杉本)
- ・府議会議員 大橋様、本日の特別卓話よろしくお願いいたします(細川)
- ・大阪府議会議員 大橋一功様、本日の特別卓話よろしくお願いします(川崎)
- ・大橋先生 御忙しい中、新年特別卓話有難う御座居ます(釜野)

ニコニコ箱合計	11,000円
累計	445,500円

■ お誕生日



寺田 敏也 会員(13日)

山本 博章 会員(15日)

先週のプログラム

特別卓話



大阪府議会議員 大橋 一功 様

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか